

インサイト insight

キーパーソンに聞く

<179>

「システム投資やセキュリティ教育などに積極的
に取り組み、本腰を入れて
いる。収益に直結しないた
め、以前は優先度が低い分
野になっていたが、本格的
な対応が進んでいる」

ログ管理システムを提供
するウィーズ・システムズ
(東京都)。さまざまな操作
ログを厳格に管理し、利用
者や用途、使用時間などを
細かく監視する。金融庁が
2024年10月にサイバー
セキュリティに関するガ
イドライン(指針)を公開
して以降、引き合いが増加

——金融機関のセキュリ
ティー対策はどう変化し
たか。

ウィーズ・システムズ

代表取締役社長

お お つか ゆたか
大塚 豊氏



——サポート領域は。

「創業からの専門分野で
あるログ管理だ。どの経路
から社内システムにアクセ
スしたのか、証跡を取得す
る。また、内部情報にアク
セス可能な、特権IDを管
理するソリューションも提

供している。管理者への申
請と承認のフローに基づき
IDを貸し出すことで厳格
に運用する。誰がどのよう
な操作をしているのか、動
きを記録し、不正アクセス
を防ぐ」

——他社との違いは。

「金融機関の規模にかか
わらず、使いやすい点だ。

他社のツールは、大企業で

の活用を想定している場合
が多い。弊社サービスはオ
ーダーメイドで利用でき、
必要な分だけライセンスの
購入が可能になっている。
極力コストを抑えたうえ
で、段階的な運用ができる」

——導入金融機関は。

「平塚信用金庫やさがみ
信用金庫が利用中だ。24年
10月に金融庁が公表したガ
イドラインは、金融機関全
般が対象になっている。専
門人材や、リソース不足に
よってセキュリティ対策
が進まなかった信金界から
の引き合いが増えている」

——今後の展開は。

「セキュリティ需要の
高まりは今後数年続くと見
ている。伴走支援し、さらな
る対策をサポートしたい。
サービス導入前のコンサル
ティングや運用中のモニタ
リングから、各金融機関の
状況を細かく分析し、親身
に相談に乗る」(佐々木渉)

操作ログを徹底管理